



## リーディングDXスクール事業【実践事例】

甲府市立南西中学校

## 【取組内容②】「授業活用動画ホームページの発信」

<https://sites.google.com/g.kofu-ymn.ed.jp/leading-kofu>


活用ライブラリ

朝レク、みんなで答えを揃えよう！ Google Forms で簡単レク！



甲府市立南西中学校 教諭・数学・3 年

## 活用例

Forms で簡単な 2 択問題を作成！

- ・朝の会の中で、みんなが同じ答えになることを目指して、2 択問題に取り組む！

(例：夏と冬どちらが好き？)

少しの時間で楽しく活動ができ、みんなで答えを合わせようとすることで、一体感が生まれる！

- ・ I C T の授業活用動画を学校の校内研究で作成し、ホームページで発信している。
- ・ 動画は短時間でポイントがわかりやすくまとめられており、多くの教員が参考にすることができる。
- ・ 動画はYouTubeに掲載することで安定した配信が可能となる。
- ・ 動画の数は60事例をこえて、様々な利用方法を発信することができた。



# リーディングDXスクール事業【実践事例】

甲府市立南西中学校

## 【取組内容④】「オンラインを利用した指導案検討」

予定の調整もオンラインで実施できる。

学校内役職	氏名	6/5	6/6	6/7	6/8	6/9	6/12	6/13	6/14	6/15	6/16	6/19	6/20	6/21	6/22
		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日
主教授	三井 一希	未	可	可	可	可	未	未	可	未	未	未	可	可	未
授業者	佐藤 凌湖	未	可	可	可	可	可	可	可	可	未	未	未	可	可
文長	井上 有実	未	未	可	未	未	未	未	未	未	未	未	未	未	未
研究主任	中村 文香	可	可	可	可	可	可	可	可	可	未	未	可	可	可
情報担当	青柳 祐太	可	可	可	可	可	可	可	可	可	未	未	可	可	可
その他、何人でも参加しても大丈夫です。		未	未	未	未	未	未	未	未	未	未	未	未	未	未
学校教育課	山主 公彦	未	未	未	未	未	未	未	未	未	未	未	未	未	未
		3	3	5	4	4	4	4	3	2	1	3	2	4	3

先生にMeetでご参加いただく日

参集して実施するよりも多くの意見が出てくる充実した検討となる。

展開 25分	(例) パンフレット、取り扱い説明書、大会の要項	デザインシート (紙)
	<p>【つむぎ】《活動①：5分》(個人)</p> <p>○教科書62ページにあるパンフレットを読み比べる。 (考えるヒント) ...Jamboardにヒントを載せておく 「タイトル」「文字の大きさ」「デザイン」「書体」「漢字」「語尾」「レイアウト」「色使い」「書いてある内容」</p> <p>《活動②：10分》 (前半5分)</p> <p>○教科書63ページにあるドライバーの説明書について、線が引かれている部分を自分で書き直す。(黄色のふせんを使用・必要に応じてマーカーなどを引く)</p> <p>(後半5分)</p> <p>○自分で選んだ方法※でさらに文章を練って書き直す。(黄色のふせんを使用)</p> <p>※・引き続き個人で考える ・周りの人と話しながらか考える(教員でもOK) ・Googleドライブから他の人の意見を見て考える</p> <p>《活動③：10分》</p> <p>○グループで話し合い、自転車の説明文のなかで、インターネットで自転車を購入するときに注意した方がいい情報に線を引く。</p> <p>○他のグループが線を引いた画像を見て、なぜその部分に注意する必要があるかを考え、ふせんに書き、「ペン」の機能を使ってふせんと文章をつなぐ。 1班⇒4班 2班⇒5班 3班⇒6班</p>	<p>●Jamboard① ※1人1Jam</p> <p>●Jamboard① ※1人1Jam</p> <p>●ドライブ</p> <p>●Jamboard② ※全体で1つ</p> <p>●Jamboard ※1人1Jam</p>
	<p>【つなぐ】(10分) (前半5分)</p> <p>○今日の学習を振り返って、パンフレットや説明書などの文章を読む時や書く時に注意することをJamboardの左側にまとめる。 ※付箋ではなく、テキストボックスを使用する。</p>	

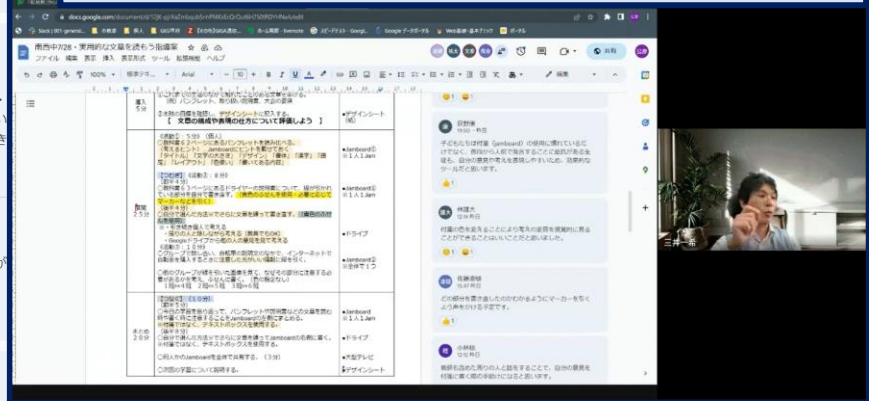
### これまでの指導案検討

- ・職員がみんなで集まり、時間をかけて行うが、意見は限られた人の発言に終始する。
- ・忙しい先生達の時間を更に使ってしまう。



### これからの指導案検討

- ・オンラインで指導案を共有して、事前にコメントを記入して、授業者も回答する。
- ・大学の有識者や指導助言者ともオンラインで予定を調整して、オンラインで指導案検討を短時間で行う。
- ・時間を有効に利用できる。授業者には好評。



## リーディングDXスクール事業【実践事例】

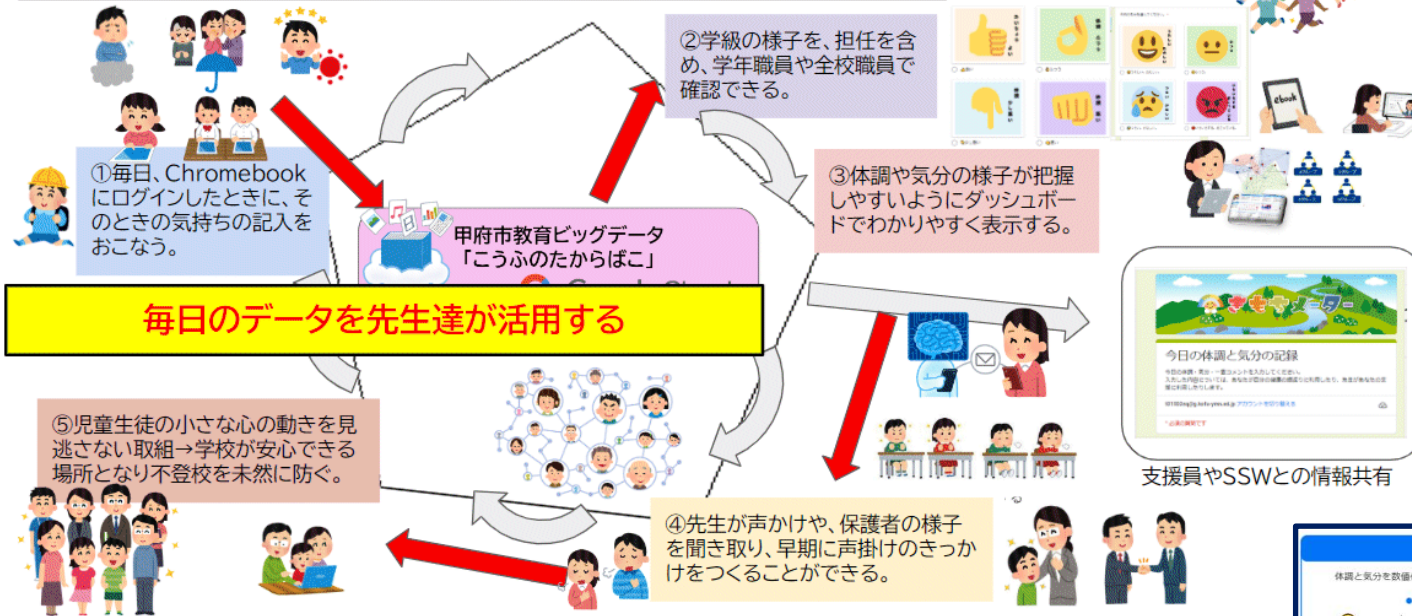
甲府市立南西中学校

## 【取組内容⑤】「ICT端末を活用した子ども達の心の健康観察と悩み相談対応」

## こころの様子を可視化する取組(甲府きもちメーター)

ねらい

毎日、こどもの心の様子を記入させることで、不登校の兆候が見られた場合は、早期段階に発見ができ、学習支援や相談支援ができる。



時刻	学習	相談
10:00	なし	-
10:30	0:30	-
11:00	1:00	-
11:30	なし	-
12:00	1:30	-
12:30	なし	ある

・「相談がある」と回答した様子は、学校内の全職員で確認ができ、迅速な対応ができる。

## ・ICT端末を利用する事で、子ども達の様子を可視化する取組のサイクル

1. 毎日、ICT端末にログインするとアンケートが実施。
2. リアルタイムで集計されて教師用のダッシュボードに表示。
3. 日常の声かけの参考にする。先生達が子ども達をサポートするアンテナのひとつとして

